

真高寺だより

第13号 平成22年1月1日発行

発行所：真高寺（伊澤孝順住職）

住 所：市原市飯給1143

電 話：0436-96-0058

*発行責任者 根本 貞夫

*編集責任者 木村 孝一



謹 賀 新 年

総代会長

根 本 貞 夫

明けましておめでとうございます。本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年、NHK大河ドラマ「天地人」をご覧になった方も多かったことと思います。あのドラマの中で、幼少の景勝に仕える小姓の一人として兼続が選ばれ、林泉寺という山寺で住職の薫陶を受けながら、主従が起居を共にするシーンがありました。この中で、たまたま山門の扁額が「第一義」となっていることに気が付き驚きました。そこで後ほど調べて見ますと、山門の扁額は上杉謙信の筆になるものであることが書かれてありました。真高寺の「第一義」の扁額は江戸時代の名僧であった月舟和尚のもので、書かれた時代は200年ほど違います。書いた人も違います。しかし共通していることは、その時代を代表する人によって、「第一義」という言葉が書かれているという事実です。私はあらためて真高寺山門の「第一義」の扁額を誇らしく思ったことです。

本年が皆様にとりまして、幸多い年でありますことをご祈念申し上げます。

道元禅師のおことば

大自然のめぐみ 青山緑水 (せいざんりよくすい)

おことばの意味

米も野菜もいのちです
肉も魚もいのちです
これらのいのちのおかげで
私たちのいのちも生かされています
「いただきます」「ごちそうさま」
尊いいのちに感謝して食事をいただきましょう

最上の生き方

住職
伊澤孝順

穏やかな新春を迎え、皆様には、お慶びのことと思います。

年の始めですので、道元禅師の「正法眼蔵」生死に、「ただわが身をも心をもはなちわすれて仏の家になげいれて、仏のかたよりおこなわれて、これにしたがいてもゆく時、力もいれず、心をもついやさずして、生死をはなれ仏となる」と説いておられます。この意味は、深く心して、身も心も仏におあずけすることが出来れば、自然人間本来の心が目覚めて、最上の生き方が出来るとされます。今年も、我々の生死を真剣に考えながら、今、何をなすべきかの答えを求めたいものです。



山内あれこれ

皆様のご寄進に感謝

高滝の根本貞夫さんより、桃の花の苗を300本頂くことになりました。2月中に届く予定です。それまでに計画的な植樹場所を決めたいと思います。



牛久で蕎麦店「春木屋」を営んでいる万田野の仲村安彦さんより、4月の花まつりに甘茶として使って欲しいと、アマチャの苗木を頂き、梵鐘脇に植えました。呼びかけに即応して下さった心遣いに大感謝です。

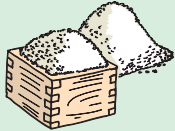


市原市椎津の佐久間造園の佐久間多喜子さんより、シキミの苗木を頂きました。この苗木は参道脇に植えました。いつもありがとうございます。



ありがとう

新米をありがとう



今年も沢山の新米を4名の方々から頂きました。寄進者は、飯給の松本金蔵さん、大戸の田邊宏一さん、そして柿木台の花澤基さんと大沼勇さんです。

花瓶一対

平野の石渡商店・石渡廣次さんがご本尊前用の青磁の花瓶を1対寄贈して下さいました。



小旗が新しくなりました

飯給の木村弥さんが、毎年、彼岸前に新しく旗を替えて供養されています。旗は参道入口の所の地藏菩薩と水子地藏尊の所の南無水子地藏尊の2種類で、共に自筆の奉納旗です。



(取替作業中の木村さん)

やっと完成です

皆様のご協力で、過去帳位牌と全檀家過去帳が立派に完成いたしました。そこでこの完成法要を、花まつり法要と兼ねて来春4月10日に行う予定です。



花まつり法要

真高寺で初めてとなる仏生会の花まつりを、4月10日(日)の午前11時より真高寺本堂で行います。ふるってご参加下さい。小さいお子様の参加もお待ちしています。



はなまつり 花祭(降誕会)

お釈迦様の誕生を祝って行う法会。4月8日を恒例とし、花御堂中に誕生仏を安置して、甘茶を像にかける。

誕生仏(別名、金剛仏・灌生仏)

立像で、右手を天、左手を地に示す「天上天下唯我独尊」と唱えたと言います。宇宙の中で我より尊いものはないという意。(つまり、人間の尊厳をあらわしたもの)

初詣のお知らせです

今年は、曹洞宗大本山總持寺参拝と両国の東京大江戸博物館見学の旅です。期日は1月16日(土)、旅行代金は12,000円、募集人数は40名です。参加される方は、寺の方へご一報下さい。



一緒に出かけましょう

西国三十三カ所霊場札所めぐりのご案内



昨年10月25日より11月1日まで、7年に一度の御開帳が、奥養老溪谷より飯給地区の33カ所で行われました。伊澤住職も地元の開帳式と閉帳式に参加されました。

その札所の本元参りとして6月中に行いたいと思っています。詳細は、追ってお知らせします。



(開帳式での住職)

これからの真高寺

- 1** 裏山中腹にある開山、歴住諸位大和尚の墓を水子供養の場所に移し、新しく墓所を造り、お参りしやすくする。



- 2** 本堂・庫裡の裏山を整地し、水の水路を確保し、崩落対策を図る。



- 3** 竹やぶを伐採・整理し、美しい竹林とする。



- 4** 外に霊園墓参用等のトイレを造る。

- 5** 永代供養墓を造る。

- 6** 花や植木を計画的に植え、美しい寺づくりを目指す。

- 7** 三尊仏の修理（普賢・釈迦・文珠）を行う。



これらの事業を寺として考えていますが、皆様のご意見も取り入れながら、少しでもお参りして安心できる寺づくりをして行きたいと思っています。

真高寺へのメッセージを！

檀信徒の皆様の思いや考え、そして近況等、手紙や葉書・ファックス等でお知らせ下さい。

大黒様もニッコリ



たまたま伐り倒した椎の木等を利用してシイタケとヒラタケの茸作りに挑戦したところ、1年目で立派な茸が採れました。思いの外の出来に、孝子大黒はニコニコしながらも、やや心配顔で、「檀家の皆さんからもらえなくなるかも……」

